

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

市民の声が、市議会を動かす

6月議会の最終日、議長提案により「新川周辺の文化・スポーツ施設利用者の利便性に配慮した駐車場料金体系の構築を求める決議」案が提出され、全会派・全議員の賛成で承認されました。

これは、市民のために中央図書館・総合グラウンドを開設したのに、利用するたびに300円以上の駐車料金が取られるのでは、ゆっくりと読書やスポーツを楽しめないという怒りの声が大きくなり、日本共産党にも「市民に何の説明もなく、一方的に有料化するのは納得できない」との声が寄せられ、市議会が対応を迫られた結果なのです。まさに市民の声が議会を動かしたものとと言えます。

「有料化を再検討すべき」と6月議会で質問

日本共産党は6月議会（12日）の一般質問で、「中央図書館・総合グラウンド駐車場の有料化に反対」の立場で、市当局の考え方を質しました。

その際、市長や当局からは、「施設がある所は県立八千代広域公園内なので、他の県立公園に合わせないわけにはいかない」、「市が駐車場を管理する金がないので県に頼んだので仕方ない」など、理解に苦しむ答弁でした。



駐車料金の再検討を迫られる中央図書館

しかし、新川ハコモノ建設による膨大な借金や数億円にのぼる維持費、その上駐車料金まで市民に負担押しつける姿勢は許せません。

さかのぼること3月議会でも日本共産党は、「市民会館や総合運動公園の駐車場有料化」に対して、予算の組み替え動議を行って反対をしてきました。

今後秋葉市政は、「行革」の名のもとに公共施設の統廃合や使用料の有料化、その値上げが計画されています。今回の市議会の決議はそうした流れを食い止める絶好のチャンスです。

日本共産党は一般質問でも主張しましたが、市当局がもっと主体的に行動して、①県立公園にも無料の駐車場があるので、それにならって無料にする交渉を県当局と行うこと。②少なくとも生涯学習プラザのように施設利用者には駐車料金を2時間は無料にすること。③八千代市が管理して、無料化の道を探すことなどを提案しました。

日本共産党は今後、6月議会の決議を受けて各党派と積極的に対策を話し合い、当局任せにしないで決議を現実的なものにするために全力を尽くします。